

新十津川農業高校の草花授業

学びを実践しながら 花で地域に彩りを



昨年、札幌市の「花フェスタ2016札幌」で行われた、「北海道農業高校生ガーデニングコンテスト」にて大賞に輝いた新十津川農業高校。前年に引き続き、2連覇を達成しました。今年も花のシーズンを迎え、3連覇を目指す生徒たち。地域活動である植栽ボランティアに使う苗の育成にも精を出しています。

新十津川のまちを 町民とともに彩る

来年で創立70周年を迎える新十津川農業高校。全国で唯一の「農業・生活学科」では、2年次より作物栽培や食品加工を中心とした農業コースと、調理技術や介護を学ぶ生活コースに分かれ、専門的分野を学びます。1学年の定員は、40人。生徒一人ひとりの個性を生かしたカリキュラムが特徴です。

毎年恒例となっているのが、全校生徒が参加する植栽ボランティア。町内会の人たちと協力し合いながら、小学校や中学校の通学路にある花壇などに花を植えていきます。まちを彩る花々は、マリーゴールドやサル



滝川大通商店街で行った、植栽ボランティアの様子。商店街の人たちとともに国道12号線沿いに花を植えていきました(写真提供/新十津川農業高校)

愛郷心と奉仕の心を育てることが活動の目的ですが、学校の授業だけでは得られないコミュニケーションを創出する機会にもなっている」と草花担当の丹倫光先生は話します。

「活動中に、栽培に関する専門的な質問を地域の方から受けることもあるかもしれませんが、生徒たちには普段の学校生活では接する機会が少ない異世代の人とも、しっかりと会話できるような力をつけてもらいたい」

花壇苗以外にも季節に合わせて鉢花などを育てており、夏には球根ベコニアやグロキシニ

ア、秋はハロウィン用のかぼちゃ、冬に向けてポインセチアも栽培しています。こうして生徒たちが育てた鉢花は、学校主催の販売会や町のまつり会場などで生徒たちの手によって販売。特にガーデニング用の苗やポインセチアは人気が高く、開始前から列ができることもあります。

大会で2連覇 実力校としてのこれから

草花の授業では一年草はもちろん、宿根草などの生育を管理するほか、園芸デザインについ



冬に人気のポインセチアの栽培は7月から始まります。暑いハウスの中、指導を受けながら鉢に植え付けていきます

ても学びます。授業の一環として参加しているのが、毎年札幌で開催される「花フェスタ」の「北海道農業高校生ガーデニングコンテスト(通称・ガーデニング甲子園)」です。コンテストには、草花授業を履修する2年生が参加。規定のスペースに草花を用いて造園し、「テーマに沿っているか」、「創造性に優れているか」、「草花などが的確に植栽されているか」などの基準を元に審査員の評価を受けます。

昨年は11校が参加。新十津川農業高校は宿根草を生かした作品が評価されて大賞を受賞。「天気が悪くて雨が降る中でのプレゼンテーションでしたが、頑張った甲斐がありました」と当



昨年のガーデニング甲子園で大賞に輝いた作品。会期が終わると、しばらくの間校舎前に設置され、一般に公開しています(写真上)。新十津川町ふるさとまつりで接客販売を行う生徒たちの様子(写真下)

時参加した3年生の砂田直子さんは振り返ります。

学校で育てている宿根草の生育を見ながら、6月末に向けてプランを立案。「花の開花時期を考慮しながら、どの草花を用いるかを考えて、バランス良く配置していかなくてはいけないので、生徒たちも難しい部分があると思います。上手にフォローしながら今年も挑戦していきたいと思います」と丹先生は前を見据えます。

第1回からコンテストに参加。今年は、3連覇を期待する声も多く寄せられます。2年生の板橋聖理香さんは「プレッシャーもありますが、今までの授業の知識を生かして楽しみながら頑張りたいと思います」と抱負を語ってくれました。

「花フェスタ」に訪れた来場者へハーブの寄せ植えを教える活動にも参加。普段の授業で身につけた技術を人に伝える作業



草花担当・教諭
丹 倫 光 先生

「今年の2年生にも、ほかと差別化できるような独自性を持って挑んで欲しい」



園芸専門分会長・3年生
砂田直子さん

「今年も私たちが育てた花で新十津川のまちを飾りたいと思います」

は、苦勞の連続です。「ハーブの育て方自体は特に難しいことではないのですが、それを人に伝えたりするのはまだまだ苦手。コンテストのプレゼンでも、苦勞していますね」と丹先生は苦笑します。「実は取材も苦手なんです」と砂田さんも照れ笑いを浮かべながら、あとに続けます。

仲間と一緒にガーデニングをデザインし、作り上げていく喜びと達成感を味わう生徒たち。普段の授業とはまた違った経験をするので、たくましく成長を続けています。



新十津川農業高等学校
樺戸郡新十津川町字中央13番地
TEL 0125-76-2621